

防災ニュース 第15号



臨時情報が発表されたら！(2)

～ 南海トラフ巨大地震の脅威と対応 ～



皆様こんにちは。前月号（第14号）に引き続き、南海トラフ巨大地震の脅威と私たちの対処方法を改めて確認しておきましょう。

（出典：内閣府「防災情報のページ」）

4. 南海トラフ地震臨時情報が発表されたら何をすればいいの？

南海トラフ地震臨時情報（調査中）が発表された場合は、一人ひとりの状況に応じて避難等の防災対応を準備・開始し、今後の情報に注意して下さい。また、地震発生から最短2時間後に観測された異常な現象の調査結果が発表されます。政府や自治体からキーワード（巨大地震警戒、巨大地震注意または終了）に応じた防災対応が呼びかけられますので、それぞれの内容に応じて対応して下さい。

南海トラフ地震臨時情報（キーワード）と取るべき防災対応

	巨大地震警戒	巨大地震注意	調査終了
（最短） 2時間 程度	<ul style="list-style-type: none"> 日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備 地震発生後の避難では間に合わない可能性のある住民は事前避難（要配慮者を考慮し、事前避難を実施） 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備（家族の所在場所確認）（非常持出袋やヘルメットを玄関に）（寝るときは履きなれた靴を枕元に） 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模地震発生の可能性がなくなった訳ではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。（通学） 
1週間 （注）	<ul style="list-style-type: none"> 日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模地震発生の可能性がなくなった訳ではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。（通学）（通勤） 	<ul style="list-style-type: none"> （通勤） （散歩） 
2週間	<ul style="list-style-type: none"> 大規模地震発生の可能性がなくなった訳ではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。 		

（注）通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合は、すべりの変化が収まってから変化していた期間と概ね同程度の期間が経過したときまで。

5. 事前避難は何をすればいいの？

突発的に地震が発生したら、最寄りの津波避難タワーや津波避難ビルまたは避難所に避難します。津波警報が発表された場合は、津波警報が解除されるまで避難を継続します。津波警報が解除されるまでの間や解除された後に、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）が発表された場合は、お住まいの地域に応じた防災対応が必要になります。

事前避難対象地域にお住まいの方は、津波警報の解除後に、浸水想定区域外の避難所や知人宅等に移動し、1週間の事前避難を実施します。

事前避難対象地域外の浸水想定区域にお住まいの方でも、地震発生後の避難では間に合わない可能性のある方は、津波警報の解除後に、浸水想定区域外の避難所や知人宅等に移動し、1週間の事前避難を実施します。

事前避難対象地域の指定状況については、お住いの市町村にお問い合わせ下さい。（豊川市では、事前避難対象地域は指定していません。）

6. 地震が発生したらすぐに避難するための備えとは？

地震の発生に備えて、日頃から、お住まいの地域の自治体で作成されているハザードマップの確認や、避難場所・避難経路、家族との連絡手段などを決めておきましょう。

また、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒・巨大地震注意）が発表された際は、必要に応じて事前避難するとともに、すぐに逃げられる服装での就寝や、携帯ラジオ・携帯電話の予備バッテリーの充電を確認するなどを実施しましょう。

【迅速な避難体制・準備】

- ・ハザードマップでどのような危険があるかを確認する
- ・安全な避難場所・避難経路等を確認する
- ・家族との連絡手段を決めておく
- ・非常持出品（食料、水、常備薬、懐中電灯、携帯ラジオ等）を常時携帯する（就寝時でもすぐ持ち出せるよう準備）
- ・すぐ逃げられる服装で就寝する
- ・屋内の安全な場所で生活する（がけ近くの部屋から離れるなど）
- ・避難情報を確実に取得できるようにする（携帯電話の音量をあげるなど）

【出火や延焼の防止対策】

- ・漏電遮断器や感震ブレーカー等を設置する
- ・火災警報器の電池切れがない事を確認する

【地震発生後の避難生活の備え】

- ・水や食料の備蓄を多めに確保する
- ・簡易トイレを用意する
- ・携帯ラジオや携帯電話の予備バッテリー等を準備する

【室内の対策】

- ・窓ガラスの飛散防止対策をする
- ・タンス類・本棚の転倒防止対策をする
- ・高い場所に物を置かない

7. 南海トラフ地震臨時情報はどのように伝えられるの？

気象庁から南海トラフ地震臨時情報が発表された場合には、テレビやラジオ、インターネットのほか、防災行政無線や広報車などで伝達されます。

いざというとき、迅速かつ安全に避難行動が取れるよう、普段から自分が住む地域にどのようなリスクがあるか、避難場所・安全な避難経路などをハザードマップで確認しておきましょう。